

学校施設のブロック塀・万年塀等の安全確認について（経過報告）

6月18日に、大阪府高槻市の小学校のブロック塀が地震で倒壊し、下敷きになった児童が死亡したことを受け、町田市教育委員会では、小中学校全62校を対象に調査を進めています。

経過及び今後の対応

1 2018年6月18日(月)

- ・大阪地域に地震発生
- ・「ブロック塀・万年塀等の調査について(依頼)」を学校長に発送
(調査内容) ブロック塀の有無、ブロック塀の高さ、長さ、控壁の有無、
その他倒壊の恐れのあるネットフェンス・木製の電柱・樹木の
有無
(提出期限) 6月22日(金)

2 2018年6月19日(火)

- ・町田市教育委員会による現地確認開始
上記1の学校による調査と並行して、町田市教育委員会がブロック塀のある学校について、順次現地確認を実施する。

3 2018年6月25日(月) ～ 2018年7月6日(金)

- ・現場確認及び詳細調査
上記2の現地確認に加えて、学校からの調査結果に基づき、危険と思われる箇所について、改めて町田市教育委員会が詳細調査を行い、安全のための応急対策の実施や対応方法を検討する。

4 2018年7月6日(金)

- ・調査結果のまとめ
危険個所の対応策を含めて整理をする。